

CONTENTS

- 2 新川和江賞
- 4 みんなが主役 協働のまちづくり
- 6 茨城県広報コンクールで特選に選出されました
- 7 東北被災三県(岩手・宮城・福島)にぜひお越しください
- 8 市民のページ
- 10 ゴミレンジャー
- 10 暮らしのアドバイス
- 11 ひとの人権わたしの人権
- 11 男女共同参画社会
- 12 シリーズ介護保険
- 12 歯ッピートーク
- 12 葉
- 13 健康増進センターだより
- 13 市民健康教室
- 14 ゆうき図書館からのお知らせ
- 14 市民活動レポート
- 15 ふるさとの民話

表紙の写真



「新川和江賞」

詳細は右記事をご覧ください。

未来をひらく 詩のコンクール

第8回

新川和江賞

創設8周年

市民情報センターで2月14日、第8回新川和江賞「未来をひらく」詩のコンクールの表彰式が行われました。

新川和江賞は、市民情報センターとゆうき図書館の開館5周年記念事業として、本市の名誉市民であり、ゆうき図書館名誉館長の詩人・新川和江さんの名を冠して創設された、詩のコンクールです。

今回応募数2,060篇の中から、新川和江賞(最優秀賞)に、山田明依さん(城南小学校3年)が輝き、優秀賞に8人、優良賞に25人が選ばれました。

表彰式では、受賞者による受賞作品の朗読、新川和江さんによる講評が行われました。

新川和江賞

風のふで

城南小学校 三年 山田 明依

雨あがり
おひさまが
風のふで下絵をかきはじめる。

大きな水たまりに
風のふでをひたす。

さくしやなの花の
花びらのえのぐで
空のがようしに大きな絵をかく。

せかいじゅうの子どもたちに見えるくらしいの絵を。

雨あがり
おひさまがかいた絵は
七色のにじ。



短評

山田めいさんの、豊かな想像力(思い描く力)と、やさしく、おだやかなお人柄が、あらわれている作品です。雨あがり「吹く風をへふで」にたとえ、水たまりにひたして、たつぷりと水をふくませ、「空のがようし」に絵をかくおひさま。ドイツの詩人ハイネ(1797-1856)は、ある愛の詩の中で、次のようにうたっています。

「いまぼくは手に力をこめ／ノルウェーの森のいちばん高い樅を引きぬぎ／エトナの山の煮えたぎる／火口にそれを浸し／火をふくむ巨大な筆にして／暗い空のおもてに書こう／アグネス あなたを愛す」と。(井上正蔵 訳)

男性的で力強いハイネの詩にくらべ、山田さんの思い描く情景は、なんとやさしく、やわらかな光と色彩にみちていることでしょう。ニコニコ空を見上げて、世界じゅうの子供たちの顔も、見えてくるようです。

新川和江さんの願い

新川さんは講評の中で、「詩は心で書くもの。今回受賞された方々は皆、感じやすい心を持っていると思いました。私は、皆さんのような幼い頃から詩は書けませんでしたので、皆さんには、ぜひ今から心に感じたことをノートに書き留めておき、自分の心で感じたことを恐れずに詩に表してほしいと思います。このコンクールのためだけでなく、何年も書き続けてください。そしてこの結城市から未来の詩人が生れることを願っています。」と思います述べられました。

●受賞作品は、市民情報センター(ゆうき図書館)1階およびゆうき図書館ホームページでご覧いただけます。
●第1回から第8回までの受賞作品は、ゆうき図書館2階新川和江コーナーにてご覧いただけます。

新川和江



昭和4年結城郡絹川村(現結城市)小森に生まれる。結城高等女学校時代に、詩人西條八十から詩の手ほどきを受け、戦後上京し詩や小説を執筆する。日本現代詩人会理事長を務め、現在は名誉会員。小学館文学賞、丸山薫賞など多くの賞を受賞。

昭和59年、結城市民栄誉賞を受賞。
平成12年、勲四等瑞宝章受章。
平成13年、結城市名誉市民となる。
平成13年、ゆうき図書館名誉館長に就任。
平成24年、結城紬大使に就任。

